

氷見市土地改良区・氷見市宇波土地改良区 合併予備契約調印式

氷見市土地改良区は、昭和 48 年 2 月の設立以来、新しい時代に対応する経営基盤の強化と運営の合理化を促進するため、氷見市内の 20 の土地改良区を吸収合併し今日に至っています。また、氷見市宇波土地改良区は、昭和 27 年 3 月の設立以来、今日まで地域一体となって宇波地区の農業発展に尽力してきましたが、近年の農業農村環境の変化等により、土地改良区に課せられた使命は一層多様化複雑化してきており良好な土地改良施設を維持していくためには、盤石な組織体制の構築と更なる合理化が求められます。

令和 3 年 1 月に氷見市宇波土地改良区から氷見市土地改良区との合併の申入れがあり、これを機に土地改良区の現状と諸課題、土地改良区のあり方、行政機関との連携等について検討を始めました。

令和 4 年 11 月に富山県をはじめ関係機関等からなる「氷見地区土地改良区統合整備推進協議会」を設立し、両土地改良区の重複解消、総代及び役員定数など、合併に必要な事項について協議を重ねてきました。

この度合意がなされ、令和 5 年 2 月 22 日に氷見市役所において、氷見市土地改良区、氷見市宇波土地改良区、氷見市、高岡農林振興センター等の関係者約 30 名が出席して合併予備契約調印式が行われました。

調印式には、江添良春氷見市土地改良区理事長（推進協議会会長）の開催挨拶、経過報告、合併予備契約書の確認の後、両土地改良区理事長（江添良春氷見市土地改良区理事長、坂本菊男氷見市宇波土地改良区理事長）並びに立会人の林 正之氷見市長、水谷英二富山県高岡農林振興センター所長が合併予備契約書に署名捺印されました。

続いて、林 正之氷見市長、水谷英二富山県高岡農林振興センター所長の来賓祝辞があり、閉式となりました。

今後は、令和 5 年 10 月 31 日の合併認可を目標に、新しい「氷見市土地改良区」として、受益面積 2,943ha、組合員数 6,056 名となる予定です。

土地改良区名（合併前）	受益面積(ha)	組合員数(名)
氷見市土地改良区	2,943	6,056
氷見市宇波土地改良区	(39)	(158)

*受益が重複しているため、新しい「氷見市土地改良区」の受益面積・組合員数は増減なし。

